

# クボタ問題から 住民に広がる アスベスト被害を考える

住民に広がるアスベスト被害。これまで原因もわからず、被害の実態も調査されてきませんでした。そのような沈黙を破ったのが、昨年6月兵庫県尼崎市で起こった「クボタ・ショック」です。アスベスト被害の患者と家族が必死の思いで、NGOや市会議員、研究者らと協力してクボタ周辺の住民を調査し、原因がアスベスト公害企業＝クボタであることを突き止めたのです。

神奈川県内においても、中皮腫や肺がん、胸膜肥厚斑と診断されるアスベスト被害が広がり、住民の健康不安も高まっています。住民の健康・福祉の問題としてアスベスト健康被害の実態を調査し、健康診断などを実施していくことを考えていかなければなりません。

講演では、疫学の専門家にクボタ・工場周辺になぜ中皮腫が住民に多発したのかについてお話をさせていただきます。シンポジウムでは、医療現場、健康相談窓口、住民被害の実情、自治体の役割などそれぞれの立場から発言していただき、住民に広がるアスベスト被害の、実りある対策実現に向けて考えていきたいと思っております。どなたも奮ってご参加ください。

10時～ **出版記念写真展** 新刊「明日をください アスベスト公害 - 患者と家族の記録」

司会 吉原隆一さん(自治労横浜市大従業員労組委員長)

撮影・著 今井 明

13時～ **第一部**  
講演 **アスベストと健康被害**  
クボタ・工場周辺に多発した中皮腫問題について  
**車谷典男さん(奈良県立医科大学教授)**

14時 **第二部**  
30分～ シンポジウム **アスベスト公害・自治体の役割とは何か**  
16時終了 医師・市民団体・元工場周辺住民・市議 による討論

## 11/11(土)鶴見会館

### 2F 末広の間 13時～

写真展は  
10時～

(社)神奈川労災職業病センター  
045-573-4289 Fax:045-575-1948  
e-メール:k-oshc@jca.apc.org  
<http://www.jca.apc.org/koshc/>

**入場無料**

中皮腫・じん肺・アスベストセンター  
03-5627-6007 Fax:03-3683-9766  
e-メール:info@asbestos-center.jp  
<http://www.asbestos-center.jp>

「いのくら」  
(県民のいのちとくらしを守る共同行動委員会)  
045-774-2435 Fax:045-774-8075  
e-メール:inokura@sepia.plala.or.jp



JR 鶴見駅から 10分  
京急鶴見駅から 7分

# アスベスト

# 鶴見にお住まいだった方へ

鶴見中央2丁目では、1975(昭和50年)まで「旧朝日石綿横浜工場」が操業していました。この工場に働いていた方やその家族、工場周辺の住民に、いま、深刻なアスベスト被害が広がっています。

=石綿



旧朝日石綿工場跡を中心とする半径1.5kmの円。兵庫県尼崎市の「クボタ」では、同様の範囲で被害が発生しています。

みなさんの身の回りで、石綿による被害を耳にされたら、ぜひ、お知らせください。

兵庫県尼崎市にあるクボタの工場では、半径1.5km以内の住民にもアスベスト被害が発生しています。現在、鶴見は、企業による無料健診も始まっています。また、3月に施行された法律\*では、工場周辺住民で健康被害があった方、その遺族にも給付金が支払われることになりました。申請には一定の要件が必要です。長年の経験とネットワークを活かし、石綿被害のご相談に応じます。また、労災、周辺住民を問わず、鶴見以外の石綿被害についても、あわせてご相談ください。

\*: 石綿による健康被害の救済に関する法律

<p>(社)神奈川労災職業病センター</p> <p>045-573-4289 Fax:045-575-1948</p> <p>e-mail:k-oshc@jca.apc.org</p> <p>http://www.jca.apc.org/koshc/</p>	<p>団体</p>
---	-----------